

再発小児急性リンパ性白血病(ALL)の国際共同臨床試験「IntReALL SR 2010」について

2017年1月12日

日本小児がん研究グループ 血液腫瘍分科会(JPLSG) 再発 ALL 委員会
委員長 後藤 裕明 (神奈川県立こども医療センター 血液・再生医療科)
IntReALL SR 2010 研究代表者 豊田 秀実 (三重大学医学部 小児科)

再発小児 ALL の患者さんに最も標準的と考えられている治療法は、現時点で二つ挙げられます。ひとつはドイツを中心にした研究グループの治療方法(ALL-REZ BFM 2002)で、もうひとつはイギリスの治療方法(ALL-R3)です。世界標準と考えられている、これら二つの治療法の安全性と効果について検証するため、国際共同臨床研究「IntReALL SR 2010」が計画されました。世界全体で、約 600 人の患者さんがこの臨床研究に参加する予定です。

日本小児がん研究グループ血液腫瘍分科会(JPLSG)は、日本全国のたくさんの“小児がんを診療する病院”が参加している全国的規模の研究グループで、日本の小児血液腫瘍の専門医師や研究者で構成されています。白血病や悪性リンパ腫などの小児血液・腫瘍性疾患のより良い治療法や診断法を見つけ、白血病やリンパ腫の子供たちの健康と福祉および生活の質の向上を目的としています。国際共同研究グループのメンバーとして、JPLSG も IntReALL SR 2010 に参加しています。

なお、IntReALL SR 2010 は、ヒトを対象とした臨床試験の国際的な実施基準である ICH-GCP (Good Clinical Practice) ガイドラインに準拠した国際共同研究であり、研究に参加する方の人権と安全が確保された質の高い臨床研究で、施設数を限定して行っています。

IntReALL SR 2010 にご参加いただく利点として、以下のことが挙げられます。

1. IntReALL SR 2010 は、ALL の国際的な専門医師グループによって作成された臨床試験であり、これまでの治療経験と新しい知見に基づいています。つまり、IntReALL SR 2010 に参加するすべての患者さんは、この分野の第一人者によって作成された治療計画に従って治療を受けることが可能になります。
2. 国際共同研究であり、治療安全情報が参加国間で共有されており、安全性に最大限に配慮した治療を受けることができます。
3. 世界標準の質が担保された中央検査施設にて、肉眼では判別できない体内に残

ったわずかな病変(微小残存病変)の評価が可能です。その結果をもとに、移植の必要性を知ることができます。

ご自分やご家族の病気が IntReALL SR 2010 にあてはまると思われる方は、主治医にご相談ください。

IntReALL SR 2010 参加施設一覧につきましては、以下のページをご参照ください。

https://ptosh.herokuapp.com/public/organizations/JPLSG/trials/IntReALL-SR-2010/department_list